

# 入賞

## 「照葉のまちの香るロード」

企画者 アイランドシティ中央公園指定管理者 株式会社西鉄グリーン土木

博多湾を埋め立てた人工島の上に、一番最初にアイランドシティ中央公園はつくられました。今少しずつ街ができ始めています。この人工島の緑化は照葉樹を基調にしています。シイ、タブなどの照葉をもつ雑木類が主役ですが、この公園の東南アプローチだけは、白いアーチがいくつもかけられていましたので、つるバラを植えて、沿道のアペリアをきちっと刈り込むとオシャレな散策路になりました。さらに香りの木を植えこんで、もっとこの公園を楽しんでもらいたいと思います。

一年中さわやかな香りを放つニオイヒバをベースに、春から初夏、この公園のもっとも美しい季節に、リンゴやバナナにはちみつと、なにかおいしそうな香りがふくと香る、不思議な「香るロード」を考えています。

実は、この公園は海上埋め立て地に特有の、植栽には厳しい環境下にあります。冬の乾寒風、夏の日照りと乾燥、埃や黄砂を含む潮風などに耐えられる樹種はそう多くはありません。いろいろと植えてみた中で、当初の緑化計画にはなかった針葉樹類はかなり成績が良いことがわかりました。ニオイヒバはこの公園で順調に育ってくると見込んでいます。その間に交互に植えるカラタネオガタマも葉の厚い照葉樹なので、なんとか持ちこたえてくれるでしょう。ヒトツバタゴはこの近辺で成績の良い樹種で、春には満開になります。ユリノキははじめてですが、照葉でもあり、公園入口で出迎えの木として、アーチには既存のバラと競うようにクレマチス、ジャスミンを配しました。足元はニオイヒバの低木と、これもこの公園で良く育つ、ラベンダーの植込みです。

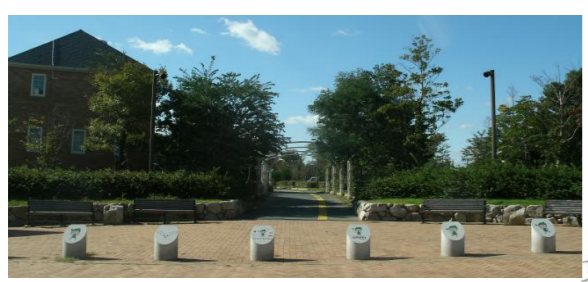
何年もかかりますが、いつかはこの街並みが博多の自慢となり、涼やかな海風の吹く初夏に訪れた人たちが、いいにおいのする街だったと記憶にとどめてもらえることを願っています。



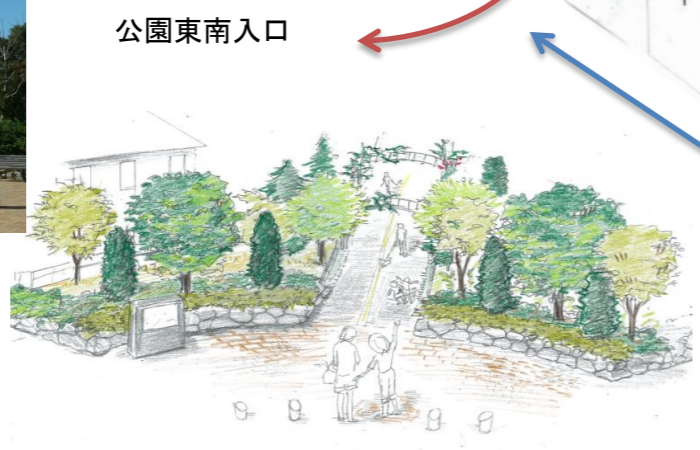
現況



駐車場沿い



現況



公園東南入口

### 使用する植物一覧

種名	本数	どんな香り? (香る部位)	香りカレンダー													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
ニオイヒバ	7本	レモンやミカン(葉)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
ユリノキ	2本	はちみつ(葉、花)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
カラタネオガタマ	9本	バナナ(花)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
ヒトツバタゴ	1本	山に咲く白い花(花)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
ニオイヒバ'ゴールデングローブ'	63本	レモンやミカン(葉)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
フンゲンストウビ'グローブサ'	12本	レモンやミカン(葉)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
ハゴロモジャスミン	6株	甘い誘惑の香り(花)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
クレマチス	6本	リンゴ(花)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
ラベンダー・デンタータ	57本	嗅げばわかる(葉、花)	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



現況

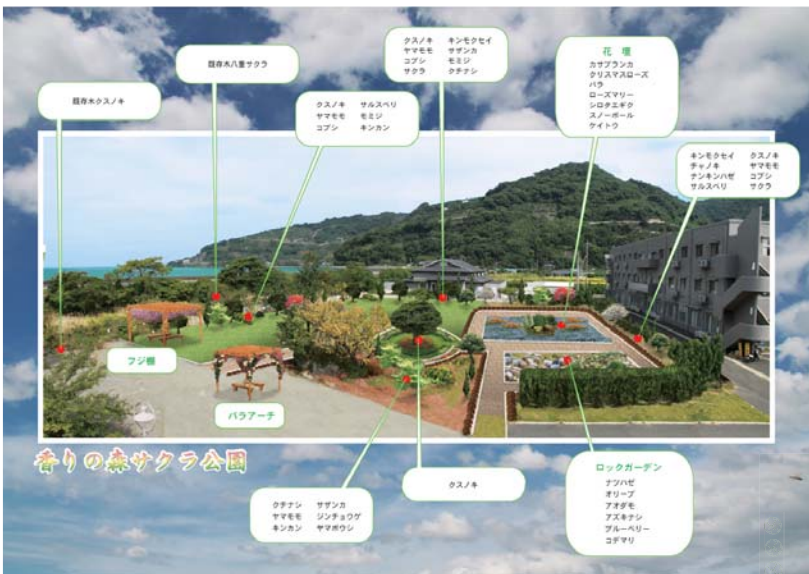


歩いてみると...

# 入賞

概要書 企画名：花と香りの森 さくら公園づくり  
 企画団体： 特定非営利活動法人 オバパト隊

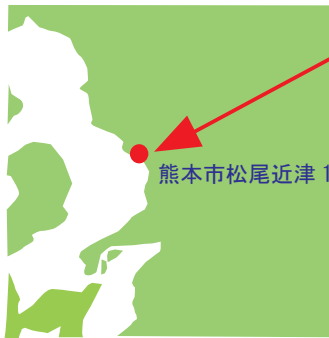
イメージ図：全体



## 企画のテーマ：ねらい

この松尾の町には公園が全くありません。この地域に香り漂う夢の公園を作り人々が集い、語り安らぎ、笑顔のふれ合いの場にしたいのが私達の念願でした。その頃隣接する老人施設が公園用にする為敷地を取得され植樹をされましたが、前面に広がる海の潮風で枯れて現在雑草で荒れています。そこで私達 NPO 法人 210 名が立ち上がり植樹をして管理して、老人施設の入所者をもとよりその家族、地域の子どもや高齢者のふれ合いと癒しの公園にすべく企画してみました。

- 敷地の内側に散歩道を作り花を植え、敷地の入口付近に藤棚とアーチを作り藤のつとくレマチスアーマンデーで囲う様にする。
- 敷地の周辺には冬の花のない時期に花が咲く臘梅の樹を植えその根元に低いお茶の苗を植える事で秋は真白い花を楽しみ若芽の頃は、施設の入所者と私達で茶摘をし、茶もみをしてお茶の自給自足を計る。
- 当地が海辺の為潮風に強いゆずの木、あんずの木、かりんの木、梅の木を植え、春は花の香りを楽しみ収穫の時期はみんなで実を楽しむ。
- 風の方向を見て、金木犀、シデコブシを植え、土手下に施設に近い為、クチナシ、沈丁花を植え、動けない入所者にも香りを届けられる様に、又 1 年中花を楽しむ為に企画しました。  
 1 月…臘梅の花 2 月…梅 3 月…桃 4 月…藤の花  
 5 月…ゆず、みかん、きんかんの花 6 月…紫陽花 7 月…夜香樹の花  
 8 月…下美人の花 9 月…お茶の花 11 月…さざんかの花



熊本市松尾近津 1483 番地



アピールポイント

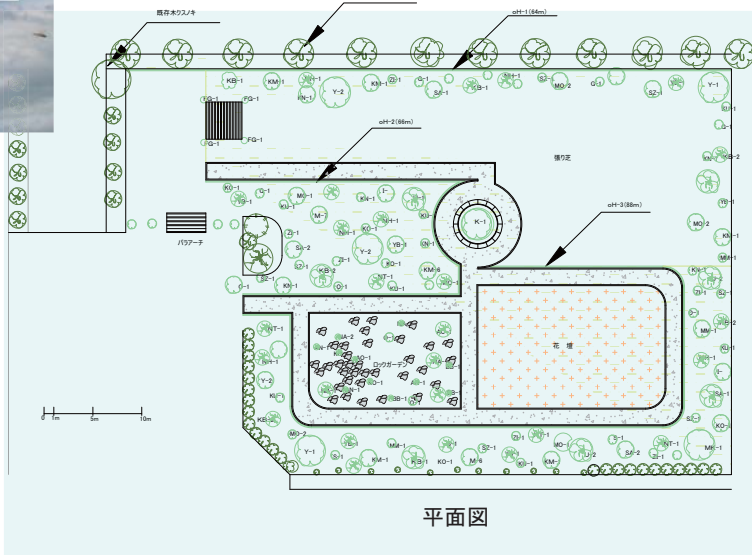


日本中でこの場所の様に素晴らしい立地に恵まれたところが何ヶ所あるでしょうか。私達は以前からこの景観を利用して、夢の公園が出来ないだろうかと考えていました。西向きの全面は海、東側はみかん畑の山々人里は穏やかな田園地帯、この環境を生かしたい。そして、農漁業に生涯を生きてきて、仕事を終えた人生の残りの時間を過ごす高齢の里人の為に楽しい、美しい、うれしい、生きてきて良かった。と思わせる癒しの場を提供出来ればと願っておりました。

この公園は香りの木々や花を植え完成すれば間違いなく夢の公園となります。この地から眺める海はあくまでも青くきらきらと光り、更に後ろはみかんと紅葉で美しく色づく反射に映える山々、花と緑風薫る佇まいはその場に座し語り合う人々と子どものざわめきも人々を至福の世界へと導きます。又、海に沈む夕日の真赤に空を染める入日に感動し涙を流すほどのものです。多くの人に喜びと安らぎを提供する夢の公園を実現させて下さい。

その為には私達の労力を惜しむことなくそそぎます。

## 里人のふれあい



平面図

番号	樹種	規格	数量	単位	備考
K-1	クスノキ	5.0	0.6	2.0	1 本
Y-1	ヤマモモ	4.0	0.4	1.2	2 本
ニ-2	梅	3.0	0.2	1.8	3 本
KB-1	コブシ	2.5	0.1	0.8	3 本
ニ-1	梅	1.5	—	—	4 本
KM-1	キンモクセイ	3.0	—	1.0	4 本
OH-1	オウゴン	0.5	—	0.5	8 本
OH-2	アズキノギ	2.0	—	0.4	8 本
NT-1	ナツツバキ	2.5	0.1	0.6	4 本
FG-1	フジ	4.0	0.12	—	4 本
DMK-1	ドウダン	3.0	0.18	1.2	2 本
U-1	ウツギ(黄)	2.5	0.15	1.2	1 本
ニ-2	梅 (白)	3.0	0.21	1.2	2 本
MM-1	梅	1.0	—	—	3 本
ニ-1	イチョウ	3.0	0.12	0.8	2 本
G-1	ガズス	1.0	—	—	4 本
S-1	スズカサ	2.0	—	—	3 本
YB-1	ヤマモモ	2.0	—	0.8	6 本
BA-1	サルズベリ	3.5	0.21	1.5	2 本
ニ-2	梅	2.5	0.12	1.0	2 本
MO-1	モミジ	3.0	0.15	1.5	3 本
ニ-2	梅	1.5	—	—	3 本
KU-1	クチナシ	0.5	—	0.4	7 本
SZ-1	サザンカ	1.2	—	0.2	6 本
ZI-1	ジンチョウゲ	0.4	—	0.3	8 本
NA-1	ナツハゼ	3.0	0.15	—	2 本
ニ-2	梅	1.4	—	—	2 本
AN-1	アズキノギ	2.5	0.10	0.6	3 本
O-1	オウゴン	2.5	—	—	6 本
AN-1	アズキノギ	1.5	—	—	7 本
KO-1	コナリ	0.5	—	—	7 本
AO-1	アオダモ	3.0	0.12	1.0	2 本
BB-1	ブルーベリー	1.5	—	—	3 本

## 企画の効果

夢にまで見た花と香りのふれ合い公園が出来た事により、地域の多くの高齢者と子どものふれ合い憩いの場所が出来ました。特にこの立地条件は公園敷地の東側はみかんの山々で秋は黄色く色づくみかんと紅葉の綾錦に彩られた山が夕日の反射で尚鮮やかに見え、又西側は一面の海できらきらと光り、夕方の入日は真赤に空を染め輝く様は、思わず涙ぐむほどの感動を人々に与えるでしょう。その中で花や木々の香りを漂わせるあづま屋や藤棚の下で高齢者や子どもが語り遊び、又散歩しては花々に心なごませ足腰を強くしてリハビリとなって、この町で初めての夢の公園が出来上がるでしょう。



# 入賞

## 「360° どんでした 南畑-鶯宿 ~花と香りでひとづくり・まちづくり~」

企画者：南畑地域協議会 / 鶯宿温泉観光協会

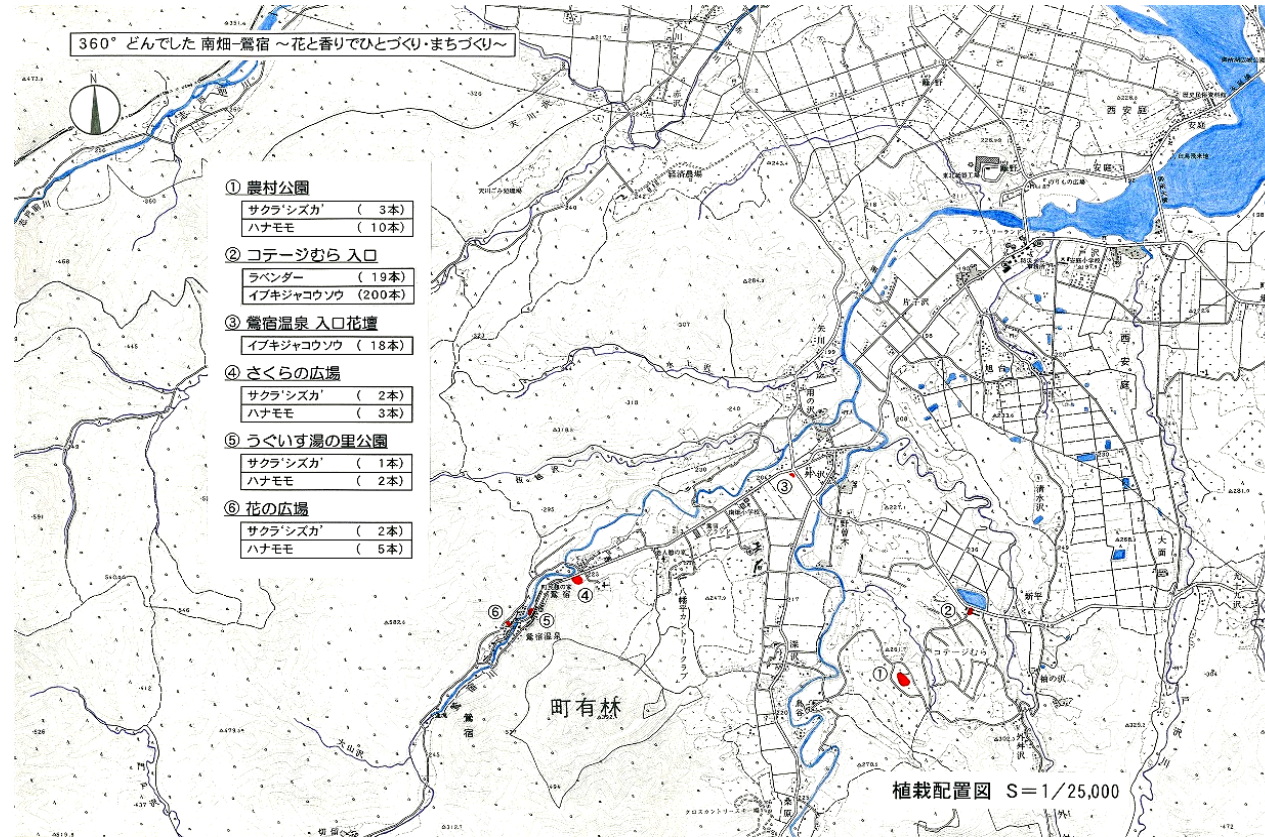
「どんでした」とは、「動転した」に由来する雫石の方言で、「びっくりした」という意味です。雫石町では、平成2年から国道でのフラワーロード整備や地域花壇や学校等への花苗配布などに取り組んできました。そして平成21年に「雫石町花と緑のまちづくり基本構想」を策定し、「景観づくり」「ひとづくり」「まちづくり」「花ふるさと」しずくいの創造を基本目標に、協働のまちづくりを推進し、町の活性化を図り、雫石町が掲げる理念の一つ、「住んでよし、訪れてよし」のまちの**実現**を目指しています。

本計画は、既設の公園や花壇に新たに「かおり」要素を加えることで魅力アップを図る提案です。平成20年度企画コンテスト応募の盛岡に続く第2弾であり、前回同様「かおり」は、北国での緑化の構成要素としてとって大事なものだと考えます。

今回の対象地は、持続可能で活力ある農村の実現を目指している「南畑コテージむら」と古くからある温泉地「鶯宿温泉」を「花と香り」の輪でつなげることで質の高い生活環境を提供するとともに、地域に愛される場を創出したいと考えております。

植樹はそれぞれの所属会員だけでなく、地域住民や南畑小学校の児童にも参加を呼びかけ、地域が一体となったイベントとして実施する予定です。

### 植栽配置図



### 現地地図



### 使用する植物一覧

サクラ‘シズカ’	( 8本)	ハナモモ	( 20本)
ラベンダー	( 19本)	イブキジャコウソウ	(218本)

### 成木時予想図



‘コテージむら 入口’イメージ



‘鶯宿温泉 入口花壇’イメージ



‘花の広場’イメージ



サクラ‘シズカ’



ハナモモ



ラベンダー



イブキジャコウソウ

### 現況写真



(① 農村公園)



(② コテージむら 入口)



(③ 鶯宿温泉 入口花壇)



(④ さくらの広場)



(⑤ うぐいす湯の里公園)



(⑥ 花の広場)